

府立高校改革推進計画に基づく 第3次実施計画

計画の趣旨

山城地域における公立中学3年生数は、昭和63年のピーク時に比べ、現在は半数近くにまで減少し、府立高校の小規模化が進んでいます。このことは、生徒の多様な進路希望等に応じた教育課程の編成や活力ある部活動を行う上での課題となっています。

京都府教育委員会では、「府立高校改革推進計画」に基づき、各学校が活力ある多様な教育活動が展開できる望ましい学校規模を確保するとともに、特色ある高校を適正に配置するため、再編整備に係る懇談会や、地元府民、学校関係者への説明会等でいただいた様々な御意見をもとに検討を進め、この度、「第3次実施計画」を策定しました。

計画の内容

1 府立高校の規模の適正化・適正配置

適正な規模の確保と特色ある高校の適正配置

多様で活力ある教育を展開するため、宇治市域の2校及び八幡市域の2校の高校を発展的に再編し、両校の伝統や校風を継承し、新しい魅力ある高校として整備します。

宇治市域

<再編対象校>	城南高校 西宇治高校
<再編年度>	平成21年度
<再編整備場所>	西宇治高校校地
<課程・学科等>	全日制課程 単位制普通科及び単位制専門学科

八幡市域

<再編対象校>	八幡高校 南八幡高校
<再編年度>	平成19年度
<再編整備場所>	八幡高校校地（一部南八幡高校校地も活用）
<課程・学科等>	全日制課程 普通科総合選択制及び専門学科

2 新しい多様で柔軟な教育システムの構築

普通科の特色づくりと多様化

生徒の興味・関心を高める特色あるコースを設定する「普通科総合選択制」を導入します。

<実施校>	八幡高校
<実施年度>	平成18年度
<通学区域>	山城通学圏
<選抜方法>	一般選抜及び推薦入学
<一般選抜の実施方法>	単独選抜